

令和5年度第4回釧路市地域公共交通活性化協議会（書面会議） 開催結果

1. 結果

全委員33名中 賛成32名、反対0名、その他1名

上記のとおり賛成委員が多数であることから、釧路市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項の規定により、議案第1号は承認されたものとする。

2. 委員意見及び回答内容

提出日	委員名	議案第1号	意見	意見に対する事務局回答
2月22日	川村委員	賛成	【その他全体について】 乗務員の確保が厳しい状況にあるバス会社の事情を考慮すると減便、代替は止むを得ないが、利用する市民に丁寧かつきめ細かな情報提供をお願いします。	阿寒バス株式会社様には、利用者への丁寧な情報提供をお願いしておりますとともに、今後は公共交通の維持継続に向け、運転手不足に対する議論も進めていきたいと考えております。
2月26日	工藤委員	賛成	【大楽毛線の減便について、昭和線の減便について】 運転手減少であれば、やむを得ない。	今後、運転手確保に向けた議論も進めてまいりたいと考えております。
2月28日	岸副会長	賛成	【その他全体について】 バス事業者は今後の運転手の不足の見込みについて示すべき。「反対」しても意味がない「賛成」です。積極的に歓迎する賛成ではありません。	今回は不測の事態により緊急的な対応となってしまいましたが、委員ご指摘のとおり、バス事業者様よりあらかじめ運転手の不足の見込みを示していただきつつ、次年度以降、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画の次期計画策定の検討と併せて、運転手確保に向けた対応策の検討も進めてまいりたいと考えております。
2月28日	宮下委員	賛成	【その他全体について】 バス会社としても止むを得ない苦肉の策としての減便・時刻変更であり、通学には支障がないとのことですので、積極的に賛成というわけではありませんが、いずれも賛成いたします。最近では、全国的なニュースとしてバスの運転手不足による減便・路線廃止がとりあげられることが珍しくなくなってきました。他方で、高齢者の自動車免許の返納という動きも継続中ですので、広域の釧路地方における公共交通機関の維持という観点から、バス会社との協議によって、5年後、10年後の長期計画（たとえば退職者人数、新規採用方針など）について考えなければならないのだと思います。 他の自治体の事例として、オンデマンドや地方では運転手の定年延長などの策がニュースで取り上げられていました。バス会社の経営が維持できるように、市としても協力できることは協力できるように、ぜひバス会社の声を拾い上げていただきたいと希望いたします。	近年、急速に全国各地で運転手不足による減便・廃線が行われており、このような状況に危機感を感じているところです。 次年度以降、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画の次期計画の策定に向けた議論を進めていく中で、運転手確保に向けた方策等の議論も進め、持続可能な公共交通の構築を検討してまいりたいと考えております。

2月28日	青柳委員	賛成	<p>【鶴居線、阿寒線、阿寒本町線(山花経由,大楽毛経由)の時刻変更について】</p> <p>平日便の阿寒線について、減便の大楽毛線が13:52、代替の阿寒線が14:06であったが、時間変更により阿寒線14:16に変更となっているが、現行2路線の中間時間帯なら理解できるが、何故2路線より遅くしたのかの補足説明が必要では。</p>	<p>ご指摘の阿寒線14:06大楽毛駅発の便は、12:30に阿寒湖を出発するダイヤとなっており、10:10釧路駅前発、12:10阿寒湖着便の折り返し便となっております。</p> <p>しかしながら生活交通路線と観光路線である性質上、大幅な遅れはないものの実際には12:10の定時到着が難しいこともあり、また、到着後の乗客の運賃収受(インバウンド対応等)、車内の忘れ物確認や車両日報記入等の一連の作業を終えた後、トイレ休憩と次の運行(12:30阿寒湖発)の準備があり、実際には休憩時間が確保できていない状況です。</p> <p>以上のことから、乗務員の労働環境の改善のため、阿寒湖畔発12:30を12:40(大楽毛駅発14:06を14:16)に変更し、出発時刻に10分の余裕を持たせることとしたものと阿寒バス株式会社様より聞いております。</p>
2月28日	佐藤委員	その他	<p>【その他全体について】</p> <p>運転手不足による減便ということですから仕方ないと思います。市民の移動権が損われ、公共交通が徐々に失われていく状況の中、根本的な方策について、考える時期に来ているのではないのでしょうか。賛成も反対もありません。</p>	<p>次年度以降、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画の次期計画の策定に向けた議論を進めていく中で、運転手確保に向けた方策等の議論も進め、持続可能な公共交通の構築を検討してまいりたいと考えております。</p>
2月29日	平間委員	賛成	<p>【その他全体について】</p> <p>今後、運転手不足等公共バスがどうなっていくか心配です。</p>	<p>バス事業者様より運転手不足の見込みなどの情報を提供いただきながら、次年度以降、運転手確保に向けた方策等の議論を進めてまいりたいと考えております。</p>